



防災士よこはま

日本防災士会横浜支部通信

第36号 NO. 036

日本防災士会横浜支部
支部長 今井 淳
事務局長 早乙女善彦

発行日 2019年2月4日

海老名高等学校DIG(災害図上訓練)実施報告

海老名高校は、神奈川県海老名市にある公立高校です。男女共学校であり、全日制課程のみが設置されています。通称は、「海老校」。普通科のみが設置されている高校であり、大学進学と短期大学進学を合わせると約 8 割前後の進学率を保っている進学校です。海老名高校には環境委員会があり、ソーラーパネルや風力発電、太陽光発電が設置されており、省エネに力を入れています。2007 年には神奈川県教育委員会から「環境・エネルギー教育重点推進校」に指定されています。



日時: 2019年(平成31年)2月4日(月曜日) 14:50~16:40

会場: 神奈川県立海老名高等学校 (神奈川県海老名市中新田 1-26-1 TEL 046-232-223)

講師: 日本防災士会横浜支部、葉山支部

(横浜支部: 今井、徳江、長沼、乾、飛田、小菅 葉山支部: 鈴木、小峰、大橋、矢嶋)

参加者: 生徒1年生420名、教職員防災担当、環境委員・町会長2名、

日本防災士会横浜支部6名 葉山支部4名

【DIG(災害図上訓練)の目的・概要】

1年生420名全員を対象に平成30年度特別授業の一環としてDIG(災害図上訓練)を位置付けています。DIG(災害図上訓練)に関しては生徒は勿論のこと教職員も経験していないため、とても感心が高く期待していました。1時限(50分)という時間的制約もありましたがDIGを学んでもらいました。

5教室同時にDIG(災害図上訓練)の授業を2回繰り返すことで全10クラス(420名)を担当しました。

1クラスに講師1名、ファシリテーター1名(人数の関係上全体を見る)を配置いたしました。

1教室内を6班に分けて机を寄せてテーブルにしてみました。DIGの説明を始めました。新聞紙を置きその上に、地図、その上にビニールを敷いてDIG開始。通常、地図は白地図を使いますが時間短縮とコピー代節約のためハザードマップをそのまま使いました。

色塗り作業の後、街の「良い点」「悪い点」ポストイットに

書き出しそれを模造紙に張り付け6グループが発表することでDIG(災害図上訓練)について理解して頂きました。

【担当・藤島教諭】

いろいろ注文が多くてご迷惑をおかけいたしました。お陰様で10クラスのDIG(災害図上訓練)が実施できました。これも日本防災士会の講師の皆様のおかげです。確定はしておりませんが来年度もお願いする予定です。大変お世話になりました。ありがとうございます。



【横浜支部・今井支部長】

今回のDIG講習会は学校のカリキュラムの時間の授業時間内に終わることが求められた講習会でした。生徒もおそらくDIGと言う防災ゲームは初めての経験だと思いますので限られた時間内で多くの時間をゲームにあてました。生徒たちも始めてにしては熱心に DIG に取り組み斑の仲間と話し合いをしながら地図上に表示していた。あらかじめ割り振られた時間に従って進行し、「良い点」「悪い点」をポストイットに記入、模造紙に張り出し、各班のリーダーによる発表が行われてゲームは終了いたしました。

この DIG の講習会に地域の町会長の方2名が参加されました。大変良いことだと感心致しました。学校と地域が一体となって防災活動等に取り組むことは顔の見える防災協力として重要です。

これからも、日本防災士会横浜支部と致しましても会員の皆様と一緒に、また、葉山支部とお互いに協力し地域防災・減災活動に邁進してまいります。 文責:長沼重雄(横浜支部副支部長)